

■第1回（昭和34年・1959年度）

毎日芸術大賞（文学）	井上 靖	小説「楼蘭」「敦煌」
毎日芸術賞（美術）	海老原喜之助	「蝶」（第5回日本国際美術展）
（演劇）	松本幸四郎	「嬢景清八嶋日記＝日向島＝」（4月、新橋演舞場）
（音楽）	間宮 芳生	「バイオリン協奏曲」の発表（6月24日、日比谷公会堂）

■第2回（昭和35年・1960年度）

毎日芸術大賞（美術）	中村 岳陵	四天王寺新金堂壁画「釈迦伝」
毎日芸術賞（文学）	丹羽 文雄	小説「顔」
（音楽）	松浦 豊明	「帰国独奏会」（6月2日、日比谷公会堂）
（写真）	土門 拳	写真集「筑豊のこどもたち」「るみえちゃんはお父さんが死んだ」

■第3回（昭和36年・1961年度）

毎日芸術大賞（文学）	吉川 英治	小説「私本太平記」
毎日芸術賞（映画）	小林 正樹	「人間の条件」3部作の監督
（舞踊）	藤間勘十郎	「勘十郎の会」における佐野源左衛門常世（10月28日、歌舞伎座）

■第4回（昭和37年・1962年度）

毎日芸術大賞（文学）	谷崎潤一郎	小説「瘋癲老人日記」
毎日芸術賞（放送）	内村 直也	ラジオ・ドラマ「マラソン」の海外輸出、「煙立阿蘇外輪山」ほか
（音楽）	プロ・ムジカ弦楽四重奏団	「ベートーベン弦楽四重奏曲」全曲演奏会
（演劇）	坂東三津五郎	「大商蛭子島」の文覚ほか（6月、歌舞伎座）
（舞踊）	西川鯉三郎	「西川鯉三郎創作舞踊発表会」（6月、芸術座）

■第5回（昭和38年・1963年度）

毎日芸術賞（文学）	舟橋 聖一	小説「ある女の遠景」（講談社刊）
（美術）	野口弥太郎	「セビラの行列」（第31回独立美術展）、「滞欧作品展」（4月、銀座・松屋）
（音楽）	歌劇「椿姫」	（7月、東京文化会館）上演関係者
（映画）	新藤 兼人	「母」（近代映画協会作品）の製作監督
（演劇）	ミュージカル「マイ・フェア・レディ」	（9月、東京宝塚劇場）上演関係者

■第6回（昭和39年・1964年度）

毎日芸術大賞（音楽）	桐朋学園渡米弦楽合奏団	渡米記念公演の成果に対し（6月、東京厚生年金会館）ほか
毎日芸術賞（文学）	三島由紀夫	小説「絹と明察」（講談社刊）
（美術）	加藤唐九郎	「加藤唐九郎陶芸展」の出品作（10月、新宿・伊勢丹）
（放送）	伊馬 春部	ラジオ・ドラマ「鉄砲祭前夜」「穂打ち乙女」ほか

■第7回（昭和40年・1965年度）

毎日芸術賞（映画）	市川 崑	記録映画「東京オリンピック」の演出
（音楽）	巖本真理を中心とする10人の演奏グループ	「ブラームス室内楽連続演奏会」（3月～7月、東京文化会館小ホール）の成果
（文学）	野口富士男	「徳田秋聲伝」（筑摩書房刊）
（写真）	岩宮 武二	作品集「京」（淡交社刊）、「大和の石仏」（淡交社刊）の成果

■第8回（昭和41年・1966年度）

毎日芸術賞（美術）	岡田 謙三	「渡米後の回顧展」（5月、東京・高島屋）の成果
（音楽）	三善 晃	「バイオリン協奏曲」の作曲
（演劇）	滝沢 修	劇団民芸公演「セールスマンの死」（5月、東京朝日生命ホール）「オットーと呼ばれる日本人」（8月、都市センター・ホール）の演技
特別賞（建築）	金子正則知事を中心とする建築関係者一同	「香川県の建築および都市開発のデザイン・ポリシー」

■第9回（昭和42年・1967年度）

毎日芸術賞（文学）	司馬遼太郎	小説「殉死」（10月、文藝春秋刊）
（美術）	手島 右卿	「右卿書作展」（3月、東京日本橋・三越）
（舞踊）	武原 はん	「春の会」（6月1日、国立劇場）、「秋の会」（10月3日、国立劇場）の舞踊
（音楽）	大橋国一、若杉弘を中心とする出演者一同	二期会による楽劇「パルジファル」公演（7月、東京文化会館）
（写真）	奈良原一高	写真集「ヨーロッパ・静止した時間」（5月、鹿島出版会刊）

■第10回（昭和43年・1968年度）

毎日芸術大賞（美術）	東山 魁夷	新宮殿壁画「朝明けの潮」の制作と「東山魁夷展」（11月、東京銀座・松屋）
毎日芸術賞（美術）	岩田 藤七	「岩田藤七展」（7月24日～28日、東京日本橋・高島屋）
（建築）	槇 文彦	「立正大学熊谷キャンパス」の設計
（演劇）	杉村 春子	文学座「女の一生」（全国巡演）の演技
（放送）	茂木 草介	テレビ・ドラマ「流れ雲」などの作者

■第11回（昭和44年・1969年度）

毎日芸術大賞（美術）	棟方 志功	「棟方志功版画大柵」（10月、講談社刊）と板芸業40年記念「棟方志功障壁画展」（11月、東京日本橋・東急百貨店）
毎日芸術賞（文学）	平野 謙	「文芸時評」上・下（9月、河出書房新社刊）
（演劇）	秋元 松代	戯曲「かさぶた式部考」（劇団演劇座公演）
（建築）	白井 晟一	「親和銀行本店」（佐世保市）
（写真）	石元 泰博	写真集「シカゴ・シカゴ」（10月、美術出版社刊）

■第12回（昭和45年・1970年度）

毎日芸術賞（美術）	宇治山哲平	「宇治山哲平展」（10月、東京銀座・壺番館画廊）
（音楽）	伊藤 京子	プーランクのモノ・オペラ「声」の歌唱（5月、第一生命ホール）
（演劇）	東野英治郎	俳優座公演「冒険・藤堂作右エ門の」の演技（10月、俳優座劇場）
（映画）	山田 洋次	「家族」（11月）、「男はつらいよ・望郷篇」（8月）の作ならびに演出
（放送）	広島テレビ放送の「光と風の生涯」制作関係者	テレビ・ドキュメンタリー「光と風の生涯」（11月）

■第13回（昭和46年・1971年度）

毎日芸術賞（文学）	大岡 昇平	「レイテ戦記」（中央公論社刊）
（美術）	楠部 弥弼	「楠部弥弼自選展」（4月～6月、大阪・阪神百貨店、東京日本橋・三越）
（建築）	前川 国男	「埼玉県立博物館」（大宮市）の設計
（音楽）	安川加寿子	ラヴェル作曲「左手のためのピアノ協奏曲」の演奏（5月、東京文化会館）
（演劇）	鶴沢 寛治	文楽「嬢景清・日向島の段」などの演奏（1月、大阪朝日座）
（写真）	白川 義員	写真集「ヒマラヤ」（小学館刊）

■第14回（昭和47年・1972年度）

毎日芸術賞（演劇）	宇野 重吉	劇団民芸公演「三人姉妹」の演出と効果
（建築）	浦辺鎮太郎	倉敷市民会館の設計と倉敷市の環境造成
（音楽）	栗林 義信	オペラ「蒼き狼」の歌唱と演技
（文学）	辻 邦生	小説「背教者ユリアヌス」（中央公論社刊）

■第15回（昭和48年・1973年度）

毎日芸術賞（建築）	大江 宏	「丸亀武道館」の設計
（放送）	金森千栄子	ラジオ・ドキュメンタリー「石崎の女一片倉千代」の制作
（能）	桜間 道雄	能「伯母捨」の復曲・上演
（彫刻）	佐藤 忠良	彫刻「佐藤忠良展」
（写真）	渡辺 義雄	「伊勢神宮」に代表される建築写真

■第16回（昭和49年・1974年度）

毎日芸術賞（文学）	荒 正人	「漱石研究年表」（集英社）の完成
（演劇）	山田五十鈴	東宝現代劇公演「たぬき」の演技
（美術）	吾妻兼治郎	彫刻「吾妻兼治郎展」の成果
（音楽）	「オルフォイス」上演関係者	二期会オペラ「オルフォイス」の成果

■第17回（昭和50年・1975年度）

毎日芸術賞（演劇）	仲代 達矢	俳優座公演「どん底」「令嬢ジュリー」の演技
（写真）	東松 照明	写真集「太陽の鉛筆」の成果
（放送）	倉本 聰	テレビドラマ「うちのホンカン」「ホンカンがんばる」の放送台本
（彫刻）	清水九兵衛	現代日本彫刻展出品作ははじめアルミ合金による連作“アフィニティ”の成果
特別賞（建築）	太田博太郎と妻籠を愛する会 木曾路妻籠宿の保存による環境造成の成果	

■第18回（昭和51年・1976年度）

毎日芸術賞（文学）	遠山 一行	「ショパン」（新潮社刊）
（写真）	並河 萬里	写真集「シルクロード」（新潮社刊）
（建築）	村野 藤吾	「小山敬三美術館」の設計
（演劇）	森繁 久彌	ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」の演技
（美術）	山本 陶秀	「山本陶秀茶入展」

■第19回（昭和52年・1977年度）

毎日芸術賞（建築）	黒川紀章とトータルメディア開発研究所—— 国立民族学博物館における建築と展示の統一	
（文学）	寺田 透	「義堂周信・絶海中津」（筑摩書房刊）
（美術）	土方 定一	「土方定一著作集」（平凡社刊）ならびに美術館活動
（映画）	宮城まり子	映画「ねむの木の詩がきこえる」
（放送）	岩手放送	“岩手に生きる”シリーズの「チャグチャグ馬っこ騒動記」 「お父さん喜美恵と呼んで」

■第20回（昭和53年・1978年度）

毎日芸術賞（演劇）	飯沢 匡	「夜の笑い」の脚本・演出（劇団青年劇場上演）
（美術）	岩橋 英遠	「岩橋英遠展」（9月～11月、東京、京都、横浜、大阪の高島屋、および北海道立近代美術館）
（文学）	有吉佐和子	小説「和宮様御留」（講談社刊）
（放送）	テレビ番組「NHK特集」の制作関係者—— 「アマゾンの大逆流・ポロロッカ」「日本特別掃海隊」「炎の海—画家・青木繁の愛と死—」などの成果	
（音楽）	渡辺 暁雄	マーラーの交響曲第六番（1977年12月、東京都交響楽団）、 第二番「復活」（4月、日本フィル）の指揮
（写真）	林 忠彦	「日本の画家108人」（美術出版社刊）に代表されるポートレート写真の完成度

■第21回（昭和54年・1979年度）

毎日芸術賞（彫刻）	多田 美波	「極」（第1回ヘンリー・ムア大賞展） 「Chiaroscuro」（第8回現代日本彫刻展）の成果
（音楽）	東 敦子	第115回「毎日ソリステン」の成果
（演劇）	「子午線の祀り」上演関係者	「子午線の祀り」（山本安英の会制作）の実験的上演の試みとその成果
（建築）	菊竹 清訓	京都信用金庫コミュニティー・バンクと一連の空間計画の設計
（写真）	篠山 紀信	「激写・135人の女ともだち」（小学館刊）にみられる斬新な手法

■第22回（昭和55年・1980年度）

毎日芸術賞（建築）	大高 正人	「群馬県立歴史博物館」（高崎市）の設計
（演劇）	河原崎国太郎	前進座小劇場公演「切られお富」の演技
（放送）	木村 栄文	テレビ・ドキュメンタリー「鳳仙花—近く遙かな歌声—」の企画・演出
（文学）	篠田 一士	「日本の現代小説」（集英社刊）の成果
（音楽）	若杉 弘	オペラ「ヘンゼルとグレーテル」「カプリッチオ」の指揮
特別賞（演劇）	越路 吹雪	六月西武劇場公演「古風なコメディ」の演技とシャンソン、ミュージカルにおける永年の功績

■第23回（昭和56年・1981年度）

毎日芸術賞（美術）	岩田 久利	「岩田久利作品展」（6月、東京日本橋・三越）
（美術）	吉田 善彦	「飛鳥日月屏風」（第66回院展）および「吉田善彦展」（9月、東京日本橋・高島屋など4会場）
（洋舞）	森下 洋子	松山バレエ団公演「ジゼル」（11月、日生劇場）の演技
（映画）	土本 典昭	長編記録映画「水俣の囃・物語」（青林舎）の制作・監督
（写真）	藤原 新也	写真集「全東洋街道」（集英社刊）

■第24回（昭和57年・1982年度）

毎日芸術賞（文学）	佐多 稲子	「夏の葉—中野重治をおくる」（新潮1月号～12月号掲載）
（演劇）	松本幸四郎	「アマデウス」（6月～7月、東京池袋・サンシャイン劇場）の演技
（音楽）	林 康子	藤原歌劇団公演「アンナ・ボレーナ」（7月、東京文化会館）の演技と歌唱
（写真）	久保田博二	写真集、写真展「桂林夢幻」（岩波書店3月刊および8月、東京銀座・松屋）

■第25回（昭和58年・1983年度）

毎 日 芸 術 賞（音楽）	朝比奈 隆	「ブルックナー連続演奏会」の指揮（9月、東京カテドラル聖マリア大聖堂）
（建築）	磯崎 新	「つくばセンタービル」の設計（茨城県新治郡桜村）
（演劇）	市川猿之助	「当世流小栗判官」「義経千本桜」の企画および舞台成果（7月、10月、歌舞伎座）
（書道）	宇野 雪村	「宇野雪村書業展」（3月、東京日本橋・三越）
（美術） —グラフィック—	亀倉 雄策	「亀倉雄策デザイン展」（10月、東京銀座・松屋）
（文学）	水上 勉	「良寛」（中央公論1月号～12月号掲載）

■第26回（昭和59年・1984年度）

毎 日 芸 術 賞（放送）	佐々木昭一郎	「春・音の光—川（リバー）・スロバキア編」（1984年3月25日、NHK総合テレビ）
（美術） —陶芸—	鈴木 治	「鈴木治泥象展」（6月～7月、東京新宿・伊勢丹）
（美術）	田中 忠雄	「田中忠雄展」（9月、北海道立近代美術館、11月、東京セントラル美術館）
（文学）	吉村 昭	「冷い夏、熱い夏」（8月、新潮社刊）
特 別 賞（演劇）	山本 安英	「夕鶴」上演1千回の成果（1951年初演）

■第27回（昭和60年・1985年度）

毎 日 芸 術 賞（美術）	秋野 不矩	「秋野不矩自選展」（2月、大阪・大丸梅田店ほか）
（建築）	内井 昭蔵	「世田谷区立美術館」（11月、東京都世田谷区）と「修養団捧誠会御霊所」（2月、静岡県沼津市）の設計
（文学）	竹西 寛子	「山川登美子—『明星』の歌人」（10月、講談社刊）
（音楽）	田中信昭と東京混声合唱団	「東京混声合唱団第100回定期演奏会」（1984年12月、東京文化会館）をはじめとする永年の演奏活動
（美術） —グラフィック—	福田 繁雄	「科学万博—つくば'85の『こども広場』の環境デザイン」などすぐれたデザイン活動

■第28回（昭和61年・1986年度）

毎 日 芸 術 賞（建築）	安藤 忠雄	「六甲の教会」（3月完工＝神戸市）の設計
（書道）	金子 鷗亭	八曲屏風「交脚弥勒」（3月、創玄展＝東京都美術館）
（演劇）	北村 和夫	「欲望という名の電車」（3月、文学座公演＝東京・サンシャイン劇場）のスタンレーの演技
（美術） —彫刻—	堀内 正和	渋谷区立松濤美術館開館五周年記念特別展「堀内正和」（9月～11月＝東京・松濤美術館）
特 別 賞（音楽）	NHK交響楽団	定期演奏会1千回記念公演「エリア」（10月＝NHKホール）の成果と六十年にわたる音楽活動

■第29回（昭和62年・1987年度）

毎日芸術賞（美術） —陶芸—	今泉今右衛門	「十三代今泉今右衛門展」（5月＝東京・三越本店） 「第34回日本伝統工芸展」（9月～10月＝同）
（演劇）	宇野重吉一座	「おんによろ盛衰記」「三年寝太郎」の公演（1986年9月～1987年11月＝全国各地）
（文学）	芝木 好子	「雪舞い」（新潮 1984年11月号～1987年2月号連載）
（美術） —グラフィック—	田中 一光	「田中一光展—デザインのクロスロード」（1月＝東京・西武美術館）
（美術）	難波田龍起	「難波田龍起展」（11月～12月＝東京国立近代美術館）
（放送）	深町 幸男	テレビドラマ「今朝の秋」の演出（11月＝NHKテレビ）

■第30回（昭和63年・1988年度）

毎日芸術賞（音楽）	一柳 慧	「作曲家の個展—'88」（11月＝東京・サントリーホール）
（美術）	絹谷 幸二	「絹谷幸二自選展」（2月～3月＝東京・西武アートフォーラム） と個展（11月～12月＝東京・フジキ画廊）
（写真）	杉本 博司	写真集「SUGIMOTO」（9月＝リプロポート社刊） 写真展「DIORAMAS」（9月～10月＝東京・ツァイトフォトサロン） 写真展「SEASCAPES」（同＝東京・佐賀町エキジビットスペース）
（演劇）	吉田 蓂助	文楽「本朝廿四孝」八重垣姫の演技（4月＝大阪・国立文楽劇場、5月＝東京・国立小劇場）
（建築）	吉村 順三	「八ヶ岳高原音楽堂」の設計（7月完工＝長野県南佐久郡南牧村）
特別賞（映画）	渥美 清	映画「男はつらいよ」シリーズ40作を通じての成果

■第31回（平成元年・1989年度）

毎日芸術賞（音楽）	石桁真礼生	「石桁真礼生 個展」（3月＝東京・サントリーホール）
（映画）	今村 昌平	映画「黒い雨」の監督
（演劇）	木下 順二	「シェイクスピア」（全八巻7月完結＝講談社刊） 「木下順二集」（全十六巻5月完結＝岩波書店刊）の成果
（建築）	谷口 吉生	東京都葛西臨海水族園（9月完工＝東京都江戸川区）の設計
（書道）	千代倉桜舟	「黄河の印象展」（7月～8月＝東京・銀座ヤマト画廊）
（美術）	豊福 知徳	「豊福知徳展」（11月＝東京画廊、12月＝大阪・カサハラ画廊）

■第32回（平成2年・1990年度）

毎日芸術賞（音楽）	武満 徹	オーケストラのための＜ヴィジョンズ＞をはじめとする一連の作品
（文学）	本多 秋五	「志賀直哉」（上・下巻、1月＝岩波書店刊）
（美術）	三尾 公三	「幻想空間の女 三尾公三展」（10月＝名古屋・名鉄百貨店）
（建築）	宮本 忠長	小布施町並み修景計画のプロデュース（1977年～1990年＝長野県小布施町）
（演劇）	森 光子	「放浪記」の演技（9月～12月＝東京・芸術座）

■第33回（平成3年・1991年度）

毎日芸術賞（建築）	伊東 豊雄	八代市立博物館・未来の森ミュージアム（3月完成＝熊本県八代市）の設計
（書道）	大平 山濤	「大平山濤書展」（10月～11月＝東京セントラル絵画館）
（美術）	工藤 甲人	「画業50年 工藤甲人展」（8月～11月＝神奈川県平塚市美術館など）
（文学）	高井 有一	「立原正秋」（11月＝新潮社刊）
特別賞（音楽）	日本現代音楽協会	「日本の室内楽」シリーズ演奏会（1990年12月～1991年1月＝東京・イイノホール）

■第34回（平成4年・1992年度）

毎日芸術賞（美術）	猪熊弦一郎	「祝90祭 猪熊弦一郎展」（10月～11月＝東京・ミキモトホール）
（書道）	金子 聰松	「金子聰松書展」（11月＝東京セントラル絵画館）
（演劇）	中村鴈治郎	近松座「心中天網島」をはじめとする年間の活躍（6月＝東京・サンシャイン劇場ほか）
（美術） —陶芸—	藤平 伸	「藤平伸展」（3月＝東京・ギャラリー土画） 「陶芸の現在—京都から」（8月～9月＝東京・日本橋高島屋など）
（放送）	山田 太一	「チロルの挽歌」（4月＝NHK総合テレビ） 「悲しくてやりきれない」（11月＝TBSテレビ）のシナリオ
特別賞（音楽）	青 の 会	「青の会」第65回演奏会「三善晃 歌曲の夕べ」（11月＝東京文化会館）

■第35回（平成5年・1993年度）

毎日芸術賞（書道）	稲村 雲洞	「今を啓く 稲村雲洞新作書展」（8月、東京セントラル美術館）など
（文学）	遠藤 周作	小説「深い河（ディープ・リバー）」（6月、講談社刊）
（美術） —グラフィック—	永井 一正	「現代の表現 七人の作家展」（10月、銀座ミキモトホール）など一連のポスター表現
（音楽）	松村 禎三	オペラ「沈黙」（11月、東京・日生劇場）
（美術） —彫刻—	柳原 義達	「柳原義達展」（9月～12月、東京・国立近代美術館）など
特別賞（放送）	橋田寿賀子	TVドラマ「おしん」「渡る世間は鬼ばかり」など一連の良質な脚本

■第36回（平成6年・1994年度）

毎日芸術賞（音楽）	秋山和慶指揮・東京交響楽団	第400回定期演奏会「シェーンベルク『モーゼとアロン』」（1月、東京・サントリーホール）
（美術） —陶芸—	今井 政之	「今井政之展」（6月、京都高島屋ほか）、「今井政之一象嵌の世界展」（9月、広島福屋）
（演劇）	幸田 弘子	「幸田弘子の会」における「たけくらべ」朗読の成果（10月、東京・東邦生命ホール）
（美術） —彫刻—	土谷 武	「土谷武展」（10月～11月、東京・ギャラリーヤマネ）
（美術） —グラフィック—	横尾 忠則	「横尾忠則の全ポスター」（9月、誠文堂新光社刊）をはじめとする永年の功績

■第37回（平成7年・1995年度）

毎日芸術賞（音楽）	今井 信子	「ヒンデミット・ビオラ・フェスティバル」（4月＝東京・カザルスホール及びドイツ文化センター）
（写真）	江成 常夫	「まぼろし国・満州」（8月＝銀座ニコンサロン、4月＝新潮社刊）、「記憶の光景・十人のヒロシマ」（8月＝新宿ニコンサロン、新潮社刊）の写真展と出版
（放送）	NHK「映像の世紀」制作スタッフ	NHKスペシャル「映像の世紀」全11回（3月～）
（演劇）	（財）兵庫現代芸術劇場	ひょうご舞台芸術第9回公演「GHETTO」（6月～7月＝シアターコクーン、新神戸オリエンタル劇場）
（美術） —陶芸—	深見 陶冶	「京都の美術 昨日・きょう・明日 16」展（2月～3月＝京都市美術館）
特別賞（演劇）	（財）都民劇場	半世紀にわたる都民劇場の活動

■第38回（平成8年・1996年度）

毎日芸術賞（映画）	小栗 康平	映画「眠る男」（2月～8月＝岩波ホールほか群馬県内などで上映）の監督
（演劇）	黒柳 徹子	「幸せの背くらべ」（3月～4月＝銀座セゾン劇場）ならびに「マスター・クラス」（10月～11月＝同）での演技
（美術） —グラフィック—	杉浦 康平	「井上有一全書業」（UNAC TOKYO刊）をはじめとする一連のブックデザイン
（美術） —絵画—	野見山暁治	「野見山暁治展—その、動く気配の一瞬の形を」（10月～12月＝練馬区立美術館）の成果
（文学Ⅱ） —短歌—	馬場あき子	歌集「飛種」（3月＝短歌研究社刊）ならびに刊行中の「馬場あき子全集」（三一書房刊）など全業績
（文学Ⅰ） —小説—	古井 由吉	「白髪（はくはつ）の唄」（8月＝新潮社刊）の執筆
特別賞（建築）	篠原 一男	作品集「篠原一男」（7月＝TOTO出版刊）の刊行と一連の建築業績

■第39回（平成9年・1997年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）—詩— 入澤 康夫

（文学Ⅰ）—小説— 金 石範

（演劇） 坂東玉三郎

（映像） 宮崎 駿

（建築） 山本 理顕

特 別 賞（演劇） 別役 實

「入澤康夫〈詩〉集成」上下巻（1996年12月＝青土社刊）

「唄—遠い冬の」（7月＝書肆山田刊）の詩作

「火山島」全7巻（1976年～1997年＝文藝春秋刊）の執筆

「壇浦兜軍記」の阿古屋（1月＝東京・国立劇場）「籠釣瓶花街酔醒」の八ッ橋（3月＝東京・歌舞伎座）「加賀見山旧錦絵」の尾上の演技

アニメーション映画「もののけ姫」（7月＝全国東宝系で上映）の原作・脚本・監督

「宮城県・岩出山町立岩出山中学校」（1994年～1996年完工）の設計

「雨が空から降れば」（10月～11月＝東京・紀伊國屋ホール）をはじめ100本を超える戯曲

■第40回（平成10年・1998年度）

毎日芸術賞（演劇） 片岡仁左衛門

（文学Ⅰ）—小説— 萩原 葉子

（美術）—彫刻— 村岡 三郎

（文学Ⅱ）—俳句— 森 澄雄

（美術）—工芸— 樂吉左衛門

「15代目仁左衛門襲名披露公演」（1月～2月＝歌舞伎座）

での「寺子屋」の松王丸、「熊谷陣屋」の熊谷直実、「吉田屋」の伊左衛門の演技

「葺麻の家 3部作」（10月＝新潮社刊）の執筆

「村岡三郎展」（1997年11月～1998年1月＝東京国立近代美術館、1月～3月＝京都国立近代美術館）の成果

句集「花間」（7月＝朝日新聞社刊）の句作と随想集「俳句のいのち」（2月＝角川書店刊）の執筆

「樂茶碗の四〇〇年 伝統と創造」展（6月～8月＝サントリー美術館）の成果

■第41回（平成11年・1999年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）—短歌— 岡井 隆

（文学Ⅰ）—小説— 河野多恵子

（映画） 高倉 健

（書道） 中野 北溟

（演劇） 蜷川 幸雄

特 別 賞（音楽） 藤沢市民オペラ

歌集「ヴォツェック／海と陸」（3月＝ながらみ書房刊）の歌作と「短歌と日本人」（全7巻）（6月完結＝岩波書店刊）の企画編集

「後日の話」（2月＝文藝春秋刊）の成果

映画「鉄道員（ぽっぽや）」（6月＝全国東映系）の演技

「北欧叙事詩『カレワラ』の光彩—中野北溟の書作による神話世界」（9月＝北海道立文学館）の成果

「リチャード三世」（2月＝彩の国さいたま芸術劇場）、「リア王」（9月～10月＝同劇場）の演出

「リエンツィ・最後の護民官」（1998年11月＝藤沢市民会館大ホール）の成果

■第42回（平成12年・2000年度）

毎日芸術賞（映像Ⅰ）—映画— 大島 渚
 （文学Ⅰ）—小説— 黒井 千次
 （音楽） 鈴木 雅明
 （建築） 内藤 廣

（映像Ⅱ） 畠山 直哉
—写真—

（美術Ⅰ） 山口 勝弘
—絵画—

特別賞（映像Ⅰ）—映画— 吉永小百合

映画「御法度」（1999年12月＝全国松竹系）の監督

小説「羽根と翼」（2000年7月＝講談社刊）の執筆

2大受難曲などのバッハ演奏活動

牧野富太郎記念館（施工＝1997年8月～1999年3月、開館＝1999年11月・高知県）の設計

写真集「Underground（アンダーグラウンド）」（2000年6月＝メディアファクトリー刊）

「闇2000光一山口勝弘展」（2000年9月～12月＝富山県入善町・下山芸術の森発電所美術館）

映画「長崎ぶらぶら節」（2000年9月＝全国東映系）の演技

■第43回（平成13年・2001年度）

毎日芸術賞（演劇） 麻実 れい

（書道） 大井 錦亭

（文学Ⅰ） 加藤 幸子
—小説—

（文学Ⅱ） 鷹羽 狩行
—俳句—

（建築） 六角 鬼文

特別賞（美術Ⅰ）—彫刻— 新宮 晋

「サラ」（2001年9月～10月＝サンシャイン劇場、新神戸オリエンタル劇場）の演技

「錦亭の書の世界」展（2001年9月＝銀座・ロイヤルサロン）での谷川俊太郎の詩への仮名による挑戦

「長江」（新潮社刊）における文学活動の集大成的な成果

句集「十三星」（角川書店刊）、海外吟句集「翼灯集」（同）の成果

「感覚ミュージアム」（宮城県岩出山町）の設計

環境彫刻「ウインドキャラバン」（2000年6月～2001年12月＝内外6カ所）の成果

■第44回（平成14年・2002年度）

毎日芸術賞（演劇） 井上ひさし

（音楽） 小澤 征爾

（文学Ⅱ）—詩— 清岡 卓行

（書道） 小山やす子

（映像Ⅱ）—写真— 森山 大道

特別賞（美術Ⅲ）—グラフィック— 早川 良雄

「太鼓たたいて笛ふいて」（7月～8月＝紀伊國屋サザンシアター）をはじめとする劇作活動

2002サイトウ・キネン・フェスティバル松本におけるブリテンのオペラ「ピーター・グライムズ」公演（8月、9月＝松本文化会館）

詩集「一瞬」（8月＝思潮社刊）と短編小説集「太陽に酔う」（6月＝講談社刊）の成果

小山やす子かな書展における六曲屏風「伊勢物語」（11月＝群馬県吉井町・多胡碑記念館）

写真集「新宿」（8月＝月曜社刊）

展覧会「早川良雄の時代—デザイン都市・大阪の軌跡」（6月～7月＝大阪・ATCミュージアム）

■第45回（平成15年・2003年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）俳句 桂 信子
 （書道） 金子 卓義
 （文学Ⅰ）小説 高橋たか子
 （演劇） 竹本住大夫

（美術Ⅰ）絵画 中西 夏之

句集「草影」（6月＝ふらんす堂）

「金子卓義 史記を書く」展（9月、東京セントラル美術館）

長編小説「きれいな人」（6月＝講談社刊）

文楽「又助住家」（5月、国立小劇場）、「すし屋」（9月、同）の語り

「中西夏之展」（2002年12月～03年2月、愛知県美術館、同年4～5月、愛媛県美術館）、「二箇所一絵画場から絵画衝動へー中西夏之」展（同年1～2月、東京芸大美術館）

特別賞（洋舞） 東京バレエ団

「ザ・カブキ」など長年にわたるすぐれた国内外公演活動

■第46回（平成16年・2004年度）

毎日芸術賞（演劇） 観世 榮夫
 （建築） 妹島 和世・西沢 立衛

能「姨捨」の演技（10月＝国立能楽堂）

「金沢21世紀美術館」（9月完工＝石川県金沢市）の設計

（文学Ⅰ）小説・評論 中村 稔

「私の昭和史」（6月＝青土社刊）

（音楽） 沼尻 竜典

「音楽の未来遺産 シリーズ三善晃の世界」（3月＝東京オペラシティ、10月＝文京シビックホール）の企画、指揮

（文学Ⅱ）短歌 前 登志夫

歌集「鳥總立」（2003年11月＝砂子屋書房）

特別賞（放送） 小山内美江子・柳井満・武田鉄矢・制作関係

TBS系ドラマ「3年B組金八先生」の25年にわたる制作活動

■第47回（平成17年・2005年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）詩 谷川俊太郎

詩集「シャガールと木の葉」（5月＝集英社）、「谷川俊太郎 詩選集①～③」（6月～8月＝集英社文庫）

（演劇） 奈良岡朋子

「火山灰地」（1月、3月＝東京芸術劇場）、「ドライビング・ミス・デイジー」（10月＝東京芸術劇場）の演技

（音楽） 西村 朗

室内交響曲第3番「メタモルフォーシス」（1月＝大阪・いずみホール）

（文学Ⅰ）小説・評論など 三木 卓

「北原白秋」（3月＝筑摩書房）

（美術Ⅰ）絵画・彫刻 李 禹煥

「李禹煥 余白の芸術」展（9月～12月＝横浜美術館）

特別賞（放送） 戦後60年企画のNHK 制作関係者

テレビ番組「戦後60年企画」の企画制作

■第48回（平成18年・2006年度）

毎日芸術賞（書道） 内山 玲子

「内山玲子書展 はちすの露」（05年12月＝東京銀座画廊・美術館）

（文学Ⅱ）短歌 篠 弘

歌集「緑の斜面」（9月＝短歌研究社）、「篠弘全歌集」（3月＝砂子屋書房）

（美術Ⅰ）絵画・彫刻 篠原有司男

「篠原有司男」展（9～11月＝鹿児島・霧島アートの森）ほかの旺盛な活動

（文学Ⅰ）小説 司 修

「ブロンズの地中海」（8月＝集英社刊）

（演劇） 中村吉右衛門

「元禄忠臣蔵」（10月）、「引窓」（9月）、「夏祭浪花鑑」（5月）の演技

特別賞（映画） 木村 威夫

「紙屋悦子の青春」の美術監督をはじめとする映画美術の功績

■第49回（平成19年・2007年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）岡本 眸
（演劇） 野田 秀樹

（文学Ⅰ）平岩 弓枝

（映像Ⅱ）細江 英公

（音楽Ⅱ）森山 良子

特 別 賞（映像Ⅰ）三國連太郎

句集「午後の椅子」（06年12月＝ふらんす堂）

「THE BEE」の日本版とロンドン版の連続上演（6～7月＝東京・シアタートラム）

小説「西遊記」（上・下巻＝毎日新聞社）

写真集「胡蝶の夢」（06年12月＝青幻舎）、「球体写真二元論細江英公の世界」（06年12月～07年1月＝東京都写真美術館）

デビュー「40周年記念年」としての多彩な活動、「さとうきび畑」、「涙そうそう」

「釣りバカ日誌」シリーズや「北辰斜にさすところ」など多くの作品での演技

■第50回（平成20年・2008年度）

毎日芸術賞（映像Ⅱ）石内 都

（演劇） 尾上菊五郎

（文学Ⅰ）永井 路子

（美術Ⅰ）舟越 桂

（文学Ⅱ）吉増 剛造

特 別 賞（音楽Ⅱ）渡辺 貞夫

「石内都展 ひろしま Strings of Time」（6～8月＝広島市現代美術館）、写真集「ひろしま」（4月＝集英社）

「魚屋宗五郎」の宗五郎（10月＝歌舞伎座）、「白浪五人男」の弁天小僧（5月＝歌舞伎座）の演技、「小町村芝居正月」（1月＝国立劇場）の復活上演への取り組みなど

「岩倉具視——言葉の皮を剥きながら」（3月＝文藝春秋）

「舟越桂 夏の邸宅」展（7月～9月＝東京都庭園美術館）

「表紙 omote-gami」（4月＝思潮社）

長年にわたるジャズ文化の振興、日本ブラジル交流年・ポサノバ音楽誕生50周年にちなんだ演奏会など

■第51回（平成21年・2009年度）

毎日芸術賞（演劇） 鳳 蘭

（建築） 隈 研吾

（書道） 關 正人

（文学Ⅰ）辻原 登

（音楽Ⅰ）遠山 慶子

特 別 賞（文学Ⅱ）金子 兜太

ミュージカル「COCO」（7月＝ル・テアトル銀座）、「雨の夏、三十人のジュリエットが還ってきた」（5月＝シアターコクーン）の演技

根津美術館（8月完工＝東京都港区）の設計

「第9回扶桑印社展」特別展示（4月＝東京セントラル美術館）、刻印集の刊行

小説「許されざる者」（上・下巻、6月＝毎日新聞社）

モーツァルトのバイオリンソナタ選曲集

句集「日常」（6月＝ふらんす堂）に至る長年の業績

■第52回（平成22年・2010年度）

毎日芸術賞（美術Ⅱ）—工芸— 秋山 陽

（文学Ⅱ）—俳句— 大峯あきら

（文学Ⅰ）—小説— 村上 龍

（映像Ⅱ）—写真— 森村 泰昌

（音楽Ⅰ）—洋舞— 吉田 都

特別賞（音楽Ⅱ）—ポピュラー— 加山 雄三

個展「秋山陽展」（09年10～11月＝大阪・アートコートギャラリー）

句集「群生会」（9月＝ふらんす堂）の刊行

小説「歌うクジラ」（上・下巻、10月＝講談社）の刊行

個展「森村泰昌：なにものかへのレクイエム——戦場の頂上の芸術」（3月＝東京都写真美術館など）

英国ロイヤル・バレエ来日公演「ロミオとジュリエット」（6月＝東京文化会館）の演技

芸能活動50周年記念アルバム「若大将50年!」の発表など多年の活動

■第53回（平成23年・2011年度）

毎日芸術賞（美術Ⅳ）—書道— 石飛 博光

（美術Ⅰ）—絵画・彫刻— 菊畑茂久馬

（文学Ⅰ）—小説・評論— 津島 佑子

（演劇・邦舞）—文楽大夫— 豊竹咲大夫

（建築） 坂 茂

特別賞（音楽Ⅱ）—ポピュラー— 由紀さおり

「石飛博光書展 2011」（7月）

「菊畑茂久馬回顧展 戦後／絵画」（7～8月＝福岡市美術館・長崎県美術館）

「黄金の夢の歌」（講談社）

「ひらかな盛衰記・逆櫓」（9月＝国立小劇場）および「絵本太功記・尼ヶ崎」（5月＝国立小劇場・7月＝国立文楽劇場）の語り

紙による新しい建築の探究と東日本大震災被災地での活用
アルバム「1969」（EMI）と、それに伴う国際的活躍

■第54回（平成24年・2012年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）—短歌— 高野 公彦

（美術Ⅰ）—絵画・彫刻— 辰野登恵子

（音楽Ⅱ）—ポピュラー— 谷村 新司

（映像Ⅲ）—放送— テレビマンユニオン

（演劇）—歌舞伎— 坂東三津五郎

特別賞（映像Ⅱ）—写真— 荒木 経惟

歌集「河骨川」（7月＝砂子屋書房）

「与えられた形象」展（8～10月＝国立新美術館）および「辰野登恵子 秋の有隣荘特別公開」（10月＝大原美術館）

アルバム「NINE」（DAO）と日中友好コンサート（9月＝国立劇場）の成果、および震災遺児支援曲「風の子守歌」の作詞など

「開拓者たち」（1月＝NHK-BS プレミアム）の制作をはじめとする映像文化への長年の貢献

「金閣寺」（1月＝新橋演舞場）、「芭蕉通夜舟」（8～9月＝紀伊國屋サザンシアターほか）および「塩原多助一代記」（10月＝国立劇場）での演技

「荒木経惟写真集展 アラーキー」（3～7月＝IZU PHOTO MUSEUM）で示した「写真集文化」の確立

■第55回（平成25年・2013年度）

毎日芸術賞（美術Ⅰ）—絵画・彫刻・工芸・グラフィック— 青木 野枝

（文学Ⅱ）—詩・短歌・俳句— 長田 弘

（文学Ⅰ）—小説・評論— 佐伯 一麦

（演劇・邦舞・演芸） 平 幹二郎

特別賞（放送） 永 六輔

個展「青木野枝 ふりそそぐものたち」愛知・豊田市美術館、名古屋市美術館（2012年10～12月）

詩集「奇跡—ミラクル—」（みすず書房）

小説「還れぬ家」（新潮社）

舞台「鹿鳴館」（2013年6月劇団四季）「唐版 滝の白糸」（2013年10月シアターコクーン）での演技

旅番組「遠くへ行きたい」など、長年にわたるテレビ・ラジオへの貢献

■第56回（平成26年・2014年度）

毎日芸術賞（音楽Ⅰ）—クラシック・洋楽— 飯守泰次郎

（文学Ⅱ）—詩・短歌・俳句— 鍵和田柚子

（美術Ⅰ）—絵画・彫刻・工芸・グラフィック— 隠崎 隆一

（美術Ⅲ）—書道— 船本 芳雲

（演劇・邦舞・演芸） 柳家小三治

特別賞（文学Ⅰ）—小説・評論— 松浦 寿輝

舞台神聖祝祭劇「パルジファル」の成果（新国立劇場）

句集「濤無限」（角川学芸出版）

「隠崎隆一 事に仕えて」展（東京・菊池寛実記念 智美術館）

「沁みいる故郷 船本芳雲書展」（横浜・そごう美術館）

江戸の古典落語を体現した一連の高座

「明治の表象空間」（新潮社）

■第57回（平成27年・2015年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ）—詩・短歌・俳句— 伊藤 一彦

（演劇・邦舞・演芸） 桐竹勘十郎

（音楽Ⅰ）—クラシック・洋楽— 庄司紗矢香

（美術Ⅰ）—絵画・彫刻・工芸・グラフィック— 菅 木志雄

（文学Ⅰ）—小説・評論— 宮城谷昌光

特別賞（映画） 是枝 裕和

歌集「土と人と星」（9月＝砂子屋書房）をはじめとする歌作と若山牧水研究の成果

「生写朝顔話」の萩の祐仙（7～8月＝国立文楽劇場）および「妹背山婦女庭訓」のお三輪（9月＝国立小劇場）の成果

「ベートーベン バイオリン・ソナタ全曲」CD録音完結記念全国ツアー公演（6月＝サントリーホールなど10カ所）

「菅木志雄」展（14年11月～15年3月＝静岡・ヴァンジ彫刻庭園美術館）および「菅木志雄 置かれた潜在性」展（1～3月＝東京都現代美術館）の成果

小説「劉邦」全3巻（5～7月＝毎日新聞出版）

「海街diary」（6月＝全国東宝系）の監督・脚本・編集

■第58回（平成28年・2016年度）

毎日芸術賞（放送） 石井ふく子

（美術Ⅰ）—絵画・彫刻・工芸・グラフィック— 河口 龍夫

（映画） 黒沢 清

（文学Ⅰ）—小説・評論— 筒井 康隆

（音楽Ⅰ）—クラシック・洋楽— 堤 剛

特別賞（音楽Ⅱ）—ポピュラー— 坂本 冬美

TBS テレビ「居酒屋もへじ—母という字—」（6月）、「渡る世間は鬼ばかり」（9月）のプロデュース

個展「河口龍夫—時間の位置—」（10～11月＝埼玉県川口市立アートギャラリー・アトリア）

「クリーピー 偽りの隣人」（6月）、「ダゲレオタイプの女」（10月）の監督

小説「モナドの領域」（2015年12月＝新潮社）

「J.S. バッハ 無伴奏チェロ組曲 全曲演奏会」（8月＝長野県軽井沢大賀ホールなど）

アルバム「ENKA～情歌～」 （10月）

■第59回（平成29年・2017年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ） 有馬 朗人

—詩・短歌・俳句—

（美術Ⅰ） 遠藤 利克

—絵・彫・工芸・グラフィック—

（文学Ⅰ） 高村 薫

—小説・評論—

（美術Ⅲ） 仲川 恭司

—書道—

（演劇・邦舞・演芸） 山路 和弘

特別賞（音楽Ⅰ） 熊川 哲也

—クラシック・洋楽—

句集「黙示」（角川文化振興財団）、並びに現代俳句の発展と国際化に果たした功績

個展「遠藤利克展—聖性の考古学」（7～8月＝埼玉県立近代美術館）

小説「土の記」上・下巻（16年11月＝新潮社）

個展「仲川恭司書作展」（9月＝東京銀座画廊・美術館）

「江戸怪奇譚～ムカサリ」（5～6月＝青年座劇場など）および「喝采」（8～9月＝本多劇場）での演技

バレエ「クレオパトラ」全2幕（10月＝オーチャードホールなど）の制作・演出に至る長年の功績

■第60回（平成30年・2018年度）

毎日芸術賞（音楽Ⅰ） 金森 穰

—クラシック・洋楽—

（文学Ⅱ） 栗木 京子

—詩・短歌・俳句—

（美術Ⅰ） 内藤 礼

—絵・彫・工芸・グラフィック—

（演劇・邦舞・演芸） 永井 愛

（文学Ⅰ） 宮本 輝

—小説・評論—

特別賞（映画） 大林 宣彦

Noism 公演「Mirroring Memories」（4月＝東京文化会館）および「Romeo & Juliets」（7～9月＝新潟市民芸術文化会館など）の演出・演技

第10歌集「ランプの精」（現代短歌社）

「内藤礼—明るい地上には あなたの姿が見える」展（7～10月＝水戸芸術館現代美術ギャラリー）

二兎社公演「ザ・空気 ver. 2 誰も書いてはならぬ」（6～7月＝東京芸術劇場シアターイーストなど）の作・演出

小説「流転の海」（新潮社）シリーズ完結 全9部

映画「花筐 / HANAGATAMI」（2017年12月公開）

■第61回（令和元年・2019年度）

毎日芸術賞（文学Ⅱ） 宇多喜代子

—詩・短歌・俳句—

（文学Ⅰ） 逢坂 剛

—小説・評論—

（演劇・邦舞・演芸） 草笛 光子

（音楽Ⅰ） 佐藤 俊介

—クラシック・洋楽—

（美術Ⅰ） 塩田 千春

—絵・彫・工芸・グラフィック—

特別賞（放送） 今野 勉

第8句集「森へ」（青磁社）をはじめとする、これまでの句業
小説「百舌落とし」（集英社）刊行に伴う小説「MOZU」シリーズ完結 全7巻

舞台「ドライビング・ミス・デイジー」（6～7月＝東京・紀伊国屋ホールほか 仙台・名古屋）のデイジー・ワーサンの演技

オランダ・バッハ協会管弦楽団 日本ツアーの弾き振り

（9月30日＝東京・浜離宮朝日ホールほか 京都・横浜・さいたま・広島）

個展「塩田千春展：魂がふるえる」（6～10月＝東京・森美術館）
NHK「宮沢賢治 銀河への旅」（18年12月～19年2月）の演出と、長年にわたるテレビへの貢献

■第62回（令和2年・2020年度）

毎日芸術賞（建築）	青木 淳・西澤 徹夫	京都市京セラ美術館の改修設計
（演劇・邦舞・演芸）	鵜山 仁	舞台「リチャード二世」（10月＝東京・新国立劇場）の演出とシェークスピア歴史劇シリーズ完結
（美術Ⅰ） —絵画・彫刻・工芸・グラフィック—	鴻池 朋子	「鴻池朋子 ちゅうがえり」（6～10月＝東京・アーティゾン美術館）
（文学Ⅰ） —小説・評論—	高樹のぶ子	「小説伊勢物語 業平」（日本経済新聞出版）
（文学Ⅱ） —詩・短歌・俳句—	水原 紫苑	歌集「如何なる花束にも無き花を」（本阿弥書店）
特別賞（放送）	TBS系ドラマ	「半沢直樹」の制作者、出演者 TBS系ドラマ「半沢直樹」（7～9月放送）の企画・制作

■第63回（令和3年・2021年度）

毎日芸術賞（演劇・邦舞・演芸）	風間 杜夫	「女の一生」の堤章介役（20年11月＝新橋演舞場）、「セールスマンの死」のウィリー・ローマン役（1月＝K A A T 神奈川芸術劇場）、「白昼夢」の高橋清役（3～4月＝東京・本多劇場）、「ベンガルの虎」の隊長役（6月＝新宿・花園神社境内特設紫テント）、「帰ってきたカラオケマン」の牛山明役（9月＝東京芸術劇場）での演技
（美術Ⅲ） —書道—	下谷 洋子	「下谷洋子書展—上州の韻き こよなく・かな—」（7月＝東京・和光ホール）
（文学Ⅱ） —詩・短歌・俳句—	高橋 睦郎	詩集「深きより 二十七の聲」（思潮社）
（美術Ⅰ） —絵画・彫刻・工芸・グラフィック—	三島喜美代	「アナザーエナジー展：挑戦しつづける力—世界の女性アーティスト16人」（21年4月～22年1月＝東京・森美術館）
（文学Ⅰ） —小説・評論—	皆川 博子	「インタビュー・ウィズ・ザ・プリズナー」（早川書房）
特別賞（音楽Ⅰ） —クラシック・洋楽—	吉野 直子	吉野直子ハープ・リサイタル2021（1月23日＝サントリーホール・ブルーローズ）に至る長年の功績

■第64回（令和4年・2022年度）

毎日芸術賞（美術Ⅰ） —絵画・彫刻・工芸・グラフィック—	遠藤 彰子	「物語る 遠藤彰子展」（神奈川・平塚市美術館）
（演劇・邦舞・演芸）	加藤 健一	舞台「スカラムーシュ・ジョーンズ or 七つの白い仮面」「サンシャイン・ボーイズ」の演技
（音楽Ⅱ） —ポピュラー—	加藤登紀子	CDアルバム「果てなき大地の上に」（TOKIKO RECORDS）の制作
（文学Ⅰ） —小説・評論—	桐野 夏生	小説「燕は戻ってこない」（集英社）
（文学Ⅱ） —詩・短歌・俳句—	永田 和宏	歌集「置行堀」（現代短歌社）

■第65回（令和5年・2023年度）

毎日芸術賞（演劇・舞・演芸）大竹しのぶ

（美術Ⅰ）大竹 伸朗
—絵画・彫刻・工芸・グラフィック—

（文学Ⅱ）柿本 多映
—詩・短歌・俳句—

（文学Ⅰ）北方 謙三
—小説・評論—

（音楽Ⅱ）山下 洋輔
—ポピュラー—

ユニクロ賞（音楽Ⅰ）沖澤のどか
—クラシック・洋楽—

舞台「GYPSY」（4～5月＝東京芸術劇場ほか）、「ヴィクトリア」（6～7月＝東京・スパイラルホールほか）、「ふるあめりかに袖はぬらさじ」（9月＝東京・新橋演舞場）での演技

「大竹伸朗展」（22年11月～23年2月＝東京国立近代美術館、5～7月＝愛媛県美術館、8～9月＝富山県美術館）

句集「ひめむかし」（深夜叢書社）

「チンギス紀」全17巻（集英社）

重量盤アナログレコード「村上春樹 presents 山下洋輔トリオ再乱入ライブ」

「京都市交響楽団常任指揮者就任披露演奏会」（4月14、15日＝京都コンサートホール、9月24日＝東京・サントリーホール）

■第66回（令和6年・2024年度）

毎日芸術賞（演劇・舞・演芸）市村 正親

（文学Ⅰ）奥泉 光
—小説・評論—

（美術Ⅲ）慶徳 紀子
—書—

（文学Ⅱ）小島ゆかり
—詩・短歌・俳句—

（音楽Ⅰ）渡邊 順生
—クラシック・洋楽—

特別賞（放送）野沢 雅子

ユニクロ賞（映画）山中 瑤子

ミュージカル「スウィーニー・トッド」（3～4月＝東京・東京建物 Brillia ホールほか全国）、ミュージカル「モーツァルト!」（8～11月＝東京・帝国劇場ほか全国）での演技

小説「虚史のリズム」（集英社）

「『間』慶徳紀子書展」（7月＝東京・セイコーハウスホール）

歌集「はるかなる虹」（短歌研究社）

アルバム「フローベルガー&ルイ・クープラン：チェンバロ精華集」、J.S. バッハ：トッカータ全7曲のチェンバロ演奏会（6月22日＝東京・今井館聖書講堂）

テレビアニメ「ドラゴンボールDAIMA」（10月～フジテレビ系）での主人公・孫悟空の声など長年の功績

映画「ナミビアの砂漠」（9月公開）

■第67回（令和7年・2025年度）

毎日芸術賞（音楽Ⅰ）井上 二葉

—クラシック・洋舞—

（美術Ⅰ）岡崎乾二郎

—絵・顔・造・グラフィック—

（文学Ⅰ）小川 洋子

—小説・評論—

（演劇・邦舞・演芸）鄭 義信

（建築）藤本 壮介

ユニクロ賞（音楽Ⅱ）坂東 祐大

—ポピュラー—

「ガブリエル・フォーレ歿後百年記念コンサート」（24年11月12日=東京・王子ホールほか）、「エラールピアノ演奏会」（2月6日=東京・迎賓館赤坂離宮）、「井上二葉 独奏会」（10月25日=東京・代官山ヒルサイドテラス）

「岡崎乾二郎 而今而後」（4～7月=東京都現代美術館）

「サイレントシンガー」（文藝春秋）

「焼肉ドラゴン」（10月=東京・新国立劇場）、「泣くロミオと怒るジュリエット2025」（7～8月=東京・THEATER MILANO-Zaほか）、「白い輪、あるいは祈り」（3月=東京・俳優座劇場）の作・演出

「藤本壮介の建築:原初・未来・森」（7～11月=東京・森美術館）、大阪・関西万博会場デザインプロデューサー・大屋根リングの設計（4～10月）

新作ワーク・イン・プログレス「キメラ—あるはずのないメソッドの空想」（2月22日=彩の国さいたま芸術劇場）、テレビアニメ「怪獣8号」第2期サウンドトラック（7月配信開始）